

第 19 区

定数 21 名

候補者 21 名

候補者氏名（受付順）

1. 氏名 2. 生年月日 3. 主たる勤務地 4. 経歴 5. 抱負 6. 現職/新任/再任

1. 池田 直也 2. 1964/4/24
3. 医療法人南労会紀和病院
4. 1992 年 奈良県立医科大学卒業
1992 年 奈良県立医科大学第一外科学教室入室
2006 年 奈良県立三室病院外科部長
2017 年 奈良県立医科大学消化器・総合外科学教室准教授
2024 年 紀和病院 病院長
5. 上肢リンパ浮腫を発生させない乳癌腋窩手術を開発したため、この手術の魅力を若手に伝え、倫理観と患者に寄り添える人間性を兼ね備えた、視野の広いアカデミックな外科医を育成し、日本外科学会の発展に貢献します。
6. 現職

1. 西村 好晴 2. 1961/6/6
3. 和歌山県立医科大学 外科学第一講座
4. 昭和 62 年 和歌山県立医科大学卒業
平成 28 年 和歌山県立医科大学 外科学第一講座
教授
令和 6 年 和歌山県立医科大学附属病院 病院長
5. 学会活動を通じて学生や研修医に外科学の魅力を感じてもらえるように努めたいと思います。
6. 現職

1. 花岡 伸治 2. 1960/8/22
3. 大阪医科薬科大学病院
4. 1988 年 3 月金沢大学医学部卒業 同年 6 月京都大学胸部疾患研究所胸部外科 1989 年 3 月～1997 年 3 月関連施設研修
2001 年から京都大学医学部付属病院 2007 年 4 月より大阪医科薬科大学病院
5. これまでに培ってきた呼吸器外科医としての知識経験スキルをこれからの若い外科医たちの伝えて行くことが、私に与えられた使命と考え、精力的に臨床・研究・教育に携わっていきたいと考えます。
6. 現職

1. 宮川 繁 2. 1968/3/20
3. 国立大学法人大阪大学 大学院医学系研究科 外科学講座 心臓血管外科
4. 平成 6 年 大阪大学医学部卒
平成 18 年 ドイツ連邦共和国ケルクホッフクリニク心臓血管外科客員医師
平成 24 年 大阪大学心臓血管外科 講師
令和 3 年 大阪大学心臓血管外科 教授
5. 外科学の更なる発展と若手外科医の育成に尽力し、研究・教育・臨床を調和させ、社会に貢献できる外科学会の発展に力を注いでまいります。
6. 現職

1. 新谷 康 2. 1969/12/9
3. 大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器外科学
4. 1995 年大阪大学医学部医学科卒業
2004 年大阪大学大学院博士課程修了
2004 年米国ネブラスカ医科大学研究留学
2010 年大阪大学呼吸器外科助教
2014 年同講師
2015 年同准教授
2019 年同教授
5. アカデミックサージョンをめざし呼吸器外科医として研鑽を積んできました。今後も臨床・研究・教育をさらに推進し、若手外科医の育成に努めるとともに、外科学の進歩と日本外科学会の発展に貢献してまいります。
6. 現職

1. 津谷 康大 2. 1976/1/19
3. 近畿大学
4. 近畿大学医学部外科学教室呼吸器外科部門主任教授。肺がん外科、区域切除と周術期治療を専門。JCOG/WJOG で臨床試験を主導し、多職種連携と標準化、医療安全と透明性、教育と国際連携を推進。
5. 外科の価値向上に向け、科学的根拠に基づく診療標準化と周術期医療の質向上に努めます。多職種連携と若手育成、地域格差の縮小に取り組み、国際発信を含め外科の信頼向上に寄与します。
6. 現職

1. 安田 卓司 2. 1960/8/10
3. 近畿大学医学部外科学教室上部消化管部門
4. 1986 年 大阪大学医学部卒業→同附属病院第二外科
1987～90 年および 1994～99 年 大阪府立成人病センター外科
2000 年～ 大阪大学大学院病態制御（消化器）外科
2007 年～ 近畿大学医学部外科
5. 食道癌治療を軸に上部消化管疾患に取り組んできました。働き方改革や外科医の減少に対してはタスクシフトによるチーム医療を推進し、外科の魅力を伝えつつも人を治療するという心ある外科医育成に努力する所存です。
6. 現職

1. 溝端 康光 2. 1960/12/6
3. 大阪公立大学大学院医学研究科救急医学
4. 1985 年 大阪市立大学医学部卒
1985 年 大阪大学医学部附属病院特殊救急部
1992 年 Harvard 大学外科
1994 年 大阪府立泉州救命救急センター
2005 年 大阪市立大学医学研究科救急医学 教授
5. 外傷外科, Acute Care Surgery を専門分野とし、学術委員会、専門医制度委員会、外傷外科医養成研修実施委員会の委員として、Acute Care Surgery 分野の発展に尽力したい。
6. 現職

1. 関本 貢嗣 2. 1956/8/7
3. 箕面市立病院
4. 1981 年大阪大学卒 2004 年同病態制御外科学准教授, 2012 年国立病院機構大阪医療センターがんセンター診療部長兼外科部長, 2019 年関西医科大学外科学講座主任教授, 2024 年箕面市立病院総長
5. これまで大学病院, 国立病院そして市中病院の、様々な立場で診療・教育・研究に携わってきました。それらの経験を生かして、日本外科学会と外科学の発展の為に尽力して参りたいと思います。
6. 現職

1. 勝間田敬弘 2. 1964/1/7
3. 大阪医科薬科大学 医学部 外科学講座 胸部外科学教室
4. 1988 年金沢大学医学部卒業 東京女子医科大学附属日本心臓血圧研究所循環器外科学教室入局 留学
2000 年京都桂病院心臓血管センター外科部長
2004 年大阪医科薬科大学胸部外科教授
2024 年同大学病院長
5. 本会が次世代の外科医を育成する中心的学会となるべく、考え、尽力させていただく所存です。会員の増加と学術活動の活性化、社会に対する発信の重要性を認識し、本会の運営に貢献いたしたく存じます。
6. 現職

1. 江口 英利 2. 1966/12/18
3. 大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学
4. H4 年阪大卒, 同第二外科入局. H12 年大学院修了, 米国 Brown 大学/Rhode Island 病院留学. H15 年大阪府立成人病センター消化器外科, H21 年大阪大学消化器外科, 令和元年より同教授.
5. 現在, 日本外科学会の理事, 専門医制度委員会委員長を拝命しています. 若手外科医の育成や外科専門医既取得者の生涯教育・スキルアップに関わる諸問題に、引き続き尽力してまいりたいと存じます.
6. 現職

1. 織田 順 2. 1969/1/13
3. 大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター
4. 1993 年大阪大学卒業, 国立東静病院外科, 米 MCV 外科, 東京医科大学病院救命救急センターなど外科/救急の修練や研究を経て 2017 年東京医科大学救急・災害医学分野主任教授, 2021 年大阪大学救急医学教授
5. 日本救急医学会副代表理事, JATEC(外傷初期診療標準化コース) 企画運営委員会委員長等の立場で引き続き外科と救急の連携・橋渡しに貢献し, また臓器組織提供のますますの推進と移植医療の発展に尽力したい。
6. 新任

1. 土岐祐一郎 2. 1961/2/2
3. 大阪大学 消化器外科
4. 1985 年大阪大学医学部卒業
1992 年米国コロンビア大学
2000 年大阪府立成人病センター
2004 年大阪大学消化器外科 講師
2008 年大阪大学消化器外科 教授
2020 年大阪大学医学部付属病院長
5. 当学会において理事、監事、第 119 回学術集会会長を歴任してきました。現在、わが国の外科医療は大きな転機を迎えています。当学会の役割は重大であり、代議員として少しでも貢献したいと存じます。
6. 現職

1. 松本 逸平 2. 1967/4/24
3. 近畿大学医学部外科学教室肝胆膵部門
4. 1993 年 大阪医科大学卒業
神戸大学医学部附属病院第一外科入局
2009 年 神戸大学医学部附属病院肝胆膵外科 講師
2014 年 近畿大学医学部外科学教室肝胆膵部門 准教授
2023 年 同 主任教授
5. 本学会の更なる発展に寄与するとともに、外科学の進歩と次世代を担う人材の育成に努め、社会に貢献できる外科医療の実現に力を尽くします。
6. 新任

1. 川井 学 2. 1970/10/20
3. 和歌山県立医科大学 外科学第 2 講座
4. 1995 年 鳥取大学医学部 卒業
1995 年 和歌山県立医科大学外科学第 2 講座入局
2001 年 和歌山県立医科大学大学院医学研究科（外科学）修了
2022 年 和歌山県立医科大学外科学第 2 講座教授昇任
5. 若手外科医不足対策に真摯に取り組み、腹部外科領域の低侵襲手術・高難度手術の双方の治療成績の向上の問題に取り組むことによって、日本外科学会全体の発展に貢献したいと思い、代議員に立候補させていただきます。
6. 現職

1. 島津 研三 2. 1967/9/23
3. 大阪大学大学院医学系研究科乳腺内分泌外科
4. 平成 6 年 3 月 大阪大学医学部医学科卒業
平成 8 年 5 月 東京都立駒込病院外科
平成 24 年 7 月 大阪大学大学院 乳腺・内分泌外科 講師
令和 2 年 5 月 大阪大学大学院 乳腺・内分泌外科 教授
5. 私は乳腺内分泌外科を専門領域としております。現在、乳癌症例数は 10 万である一方外科医は減少傾向です。特に私は男女共同参画の促進と、入局数の増加で外科学会に貢献したいと考えております。
6. 現職

1. 李 相雄 2. 1968/12/26
3. 大阪医科大学
4. 1995 年 大阪医科大学卒業
1995 年 同附属病院 臨床研修
2005 年 愛媛県南松山病院外科
2007 年 大阪医科大学一般・消化器外科助教
2017 年 同講師
2022 年 同教授
2024 年 同院 副院長
5. 急速に社会が変容しています。本学会が行政に働きかけ、外科医療の効率化と外科医の処遇改善を推進し、性別を問わず若手医師が安心して外科を志し、また継続して活躍できる環境の実現に尽力します。
6. 現職

1. 松田 健司 2. 1970/8/1
3. 和歌山県立医科大学
4. 平成 8 年和歌山県立医科大学卒業後、平成 9 年同大学院入学。平成 13 年国立南和歌山病院外科を経て平成 14 年和歌山県立医科大学臨床研究医、平成 18 年より同助手、平成 25 年より同講師、令和 4 年より同准教授。
5. 日本の外科学の発展、特に国際的な分野での大腸肛門外科分野の存在感の向上のために努力したいと思います。そのためには、新しい外科医のリクルートに努め、研究的思考を備えた外科医の育成に努めたいと考えます。
6. 現職

1. 朝隈 光弘 2. 1972/7/10
3. 大阪医科薬科大学
4. 1998 年大阪医科大学卒業, 2000 年大阪医科大学専攻医, 2003 年京都大学医学部移植外科研修, 2007 年 IRCAD (France) Fellow, 帰局後大阪医薬大一般・消化器外科大学助教, 講師, 准教授
5. 外科医を取り巻く諸問題は様々な要素が絡み合い複雑化してきております。少しでも外科医減少を食い止めるために, 外科医自身が自信を持ってその魅力を発信できるように尽力したいと存じます。
6. 新任

1. 海堀 昌樹 2. 1964/8/23
3. 関西医科大学
4. 関西医科大学卒業後, 京都大学移植外科で研鑽。関西医科大学外科学講座准教授, 診療教授を経て, 2024 年より関西医科大学肝臓外科学講座 主任教授を拝命。サージカルサイエンス社会連携講座教授を兼任。
5. 外科医療における, 教育・研究・臨床の課題において多様な視点を尊重し, 次世代の外科医療に貢献したいと考えております。医療の発展と若手育成に尽力し, 現場の声を日本外科学会の運営に反映できるよう努めます。
6. 新任

1. 高田 正泰 2. 1974/4/22
3. 関西医科大学 乳腺外科学講座
4. 2000 年 北海道大学医学部卒, 2001 年 東京都立駒込病院, 2007 年 京都大学乳腺外科, 2012 年 医学博士, 同助教, 2021 年 同准教授, 2024 年 関西医科大学乳腺外科学 主任教授
5. 乳癌の臨床・教育・研究に従事し, 前期は指導医選定委員会委員を務めました。若手医師のリクルートおよび育成, 研究の推進に尽力し, 本学会のさらなる発展に貢献したいと存じます。よろしくお願い申し上げます。
6. 現職